

# な 報 か つ え

46年 2月号

[ 第 97 号 ]

発 行 所

編 集 発 行 人

大分県・日田・中津江村

川 津 一 人

## 成人式

おめでとう

“はたちのはる”

四十九名が出席



学校を卒業して、遠く親元を離れて働いている人などのために、なるべく帰郷中におこないたいとの配慮から、今年は繰上げて一月五日に挙行了しました。

今年九十八人の成人該当者がいたのですが、式には男子二十名女子二十九名の出席者を数へることが出来ました。

多数の来賓の出席を得た式場は、子供から大人へ成長した責任と希望に満ち溢れ、村長から一人一人に対して「成人証」と記念品（はたちの春）が贈られ、成人者を代表して、杉本幸子さんが「社会人として立派な人になります」と答辞を読み上げました。

式の後、村から出された弁当を開きながら久しぶりに会った旧友としばし話に花が咲きました。

式後、日田教育事務所三河尻指導課長さんの「子供から大人へ」と題する記念講演があり、一社会人として独立することの責任の重大さを改めて認識され、午後二時半終了しました。

## 二 月

四日は立春 こよみの上では立夏（五月六日）の前日までを「春」といいます。しかし現実には、寒さがまだかなりきびしく、季節風も強く、寒波の襲ってくる事もあります。下旬にもなりますと時折り気温もゆるみ、樹木の肌をみてもかすかに春の気配の動きが感じられます。

二月いっぱいをお願いしたい「早春」といいます。データーによると、二月という月は一年で一番よく雪が降り、大雪の記録が残っています。

さて二月は俗に逃げる月といわれ、いつの間にか過ぎてしまいます。進学、卒業、就職されるお子様のいる御家庭では早目に準備をしておきましょう。

### 村 の 動 態

45年	2月1日	現在
人口	3,075	人
男	1,494	人
女	1,581	人
世帯	709	戸
住民基本台帳		から

# 消防力の威容を誇る

## 寒風の出初式

### 永年勤続者など表彰

昭和四十六年消防団出初め式は去る一月八日、中津江中学校々庭で威勢よく挙行されました。

過疎の波が押寄せ、若い層がだんだんと減少しておる現在、やゝもすれば沈滞しがちな空気がある中で、消防団の規律ある一挙手一投足は実に力強く、頼もしいものであります。

当日は午前九時三十分、五つの分団員百三十二名が消防車を先頭に勢揃いし、国旗掲揚を皮切りに式典始め、人員報告、分団毎の人員服装点検、ポンプなどの各機械器具の点検があり機械要員によるシブ操法の披露では迅速、正確を遺憾なく發揮してくれました。

小隊訓練、分列行進では一系乱れず堂々と力強さを示し、プールを水源とした放水訓練では中空高く舞い上る水柱に消防力の力強さを如実に現しました。

続いて各種の表彰式に移り、それぞれの分団で活躍され、また、長い間消防精神を貫徹された方々にその労をねぎらい更に今後の活動を期待し、感謝状が授与されました。

表彰された方々は次のとおりです。(敬称略)

### 日田消防協会長表彰

※十五年以上勤続

(第二分団) 岩本信男

(第五分団) 平 利治

赤星定、高森守

※永年勤続退団者

鷹野 匠、森下 洋

中津江村長表彰

※十五年以上勤続精勤証

(第二分団) 岩本信男

(第五分団) 平 利治

赤星 定、高森 守

※五年以上勤続精勤証

(第一分団) 杉野順二

小倉太助 杉野元一

(第四分団) 相良孝生

(第五分団) 栗原朝生

上田悦男

消防団長表彰

※団員特別表彰

(第一分団) 川良真寿

(第二分団) 鷹野 弘

雄、三苦満栄

(第五分団) 長谷部武重

※一般協力者表彰

(川辺地区) 梶原 巖

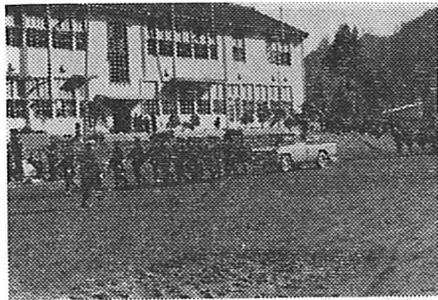
鷹野格二

(鯛生地区) 永瀬富繁

池田 清

## 遺跡 縄文時代の土器発見

### 水没するワラビの部落跡で



(写真は小隊訓練)

### 大分県消防協会長表彰

※永年勤続退団者

吉本末富、山田寿賀雄

石川一郎、桑野三次、山口楠生、中塚昭、児塔一勝、高場一男、嶋村政男

中津江村にも古代人が住んでおりました。ワラビノ部落の田の跡地より縄文時代の中期後期あたりの土器や黒曜石片等が出土し又住居跡らしき遺跡が発見されました。現在の日本の遺跡の分布図には記載がなく新しい発見として今後の分布図が書き替へられることになると思います。

この発掘は関西大学の発掘調査後新たに熊本県の社会

没地域になりこのまゝ水没させるのは残念な気が致しますが発掘調査するには相当の予算が必要になりますので致し方ないと思えます

## 交通事故にそなえて

### 交通災害共済に加入を

日増しに増加する自動車によって、交通事故も多くなり、新聞に発表されない日は殆どなくなりました。大分県では、県内に住居を有する人の不測の事故に備えて「大分県町村交通災害共済組合」を昨年から発足させ、県民総ぐるみで事故を防ぐのは勿論、不幸にして事故にあった方に見舞金を出す事にしていることは御承知のとおりです。四十六年度も更に推進するため、いま広く呼びかけています。

日本国内で共済期間中(四月一日から三月三十一日まで)に交通用具により事故に会われた方にはその程度により見舞金が出ます。(交通用具とは自動車、単車、自転車、汽車、電車、家畜機、船など)

が我々の祖先が中津江村にどのような生活を送っていたかと想像する時非常に興味深いものがあります。

掛金は一年間一人三百六十円で、本村では二月末日まで総務課で受付けております。加入は出来るだけ世帯単位で申込まれるよう希望しています。

対象となる事故の範囲は、一、期間中に交通用具に乗っているとき又は、改札口に入って通常の通路を通り改札口を出るまでの交通用具の事故

二、動いている交通用具との接触、又は衝突によって起った事故

三、交通用具で進行中に建造物、工作物などの倒壊又は建造物、工作物からの物の落下による事故。などとなっています。お互いのために全員加入されますよう希望しています。

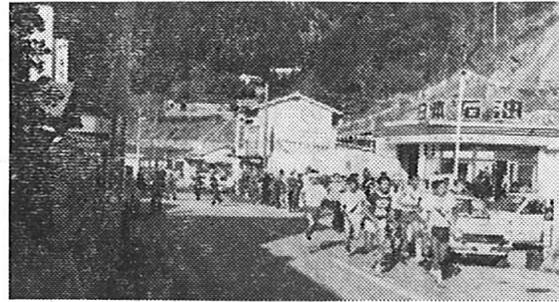
# 第14回日田郡駅伝 健脚競う若い力

## 中津江チーム 二位入賞

毎年おこなわれております日田郡一周駅伝大会が今年は一月十七日、挙行されました。

大会参加八チーム、絶好

ートルにわたり抜かれたの激斗を展開、木村チームは堂々、二位を獲得しましたこの大会も回を重ねて、第十四回を数へ今年は従来コースの道路改修があっ



(写真はスタート)

て、日田市小淵から五馬越えの急坂の上り下りに変更

の駅伝日和に恵まれ郷土の名誉を双肩に若いエネルギーは栃原団地を出発点とし終点天ヶ瀬役場までの十区間総延長四十一、三キロメ

順位	チーム名	記録	
		時間	分 秒
1	瀬江A	22	08
2	中津江	22	24
3	山津山	22	24
4	大上	22	27
5	前山	22	31
6	大	22	38

されました。

今日の日に選手たちは正月返上の猛練習を重ねてきました、その間、村民各位の暖い御援助を頂き感謝しております。

今年順位こそ二位になり

### 農業者年金制度発足

#### 豊かな老後のために

本年一月一日から

農業者の老後生活の安定と後継者移譲による優秀な農業経営者確保、さらに経営の若返り、経営規模の拡大という、社会保障と農業近代化の両面をねらいとし国民年金に上のせして仕込まれた、「農業者年金基金法」がこのまへの国会で成立しました。

この法律は全国の農家から長い間にわたってその成立を熱望されて来たもので、他の公的年金よりも国が負担する率が高くなっております、きわめて有利な制度になっていきます。

「農業者年金」を取り扱う「農業者年金基金」が去年十月一日に設立され、本年一月一日から業務を開始し

また、来年こそは圧倒的記録で必ずや優勝すると、早くもフアイトを沸らせ

りております。記録と順位は上記のとおり。

記

#### 制限令

加入者は、昭和四十六年一月一日現在で五十五才をこえない人に限られます。

#### 年金種類

- ① 移譲養老年金
- ② 農業者老令年金
- ③ 死亡一時金
- ④ 脱退一時金

#### 年金の貰える時期

① 経営移譲年金 六十才迄に経営移譲した場合六十才。六十才から六十五才迄の間に移譲した場合はその時から

#### 農業者老令年金

経営移譲の有無に関係なく五十才から、

#### 脱退、死亡一時金

三年以上保険料を納め加入者でその拠出期間に応じる。

#### 保険金

加入者の当初保険料は月額七百五十円。詳細については農業委員会にお尋ね下さい。

#### 自衛官募集

二等陸、海、空士 自衛隊ではたゞいま左記の要領で二等陸、海、空士を募集しています。

#### 応募資格

十八才以上二十五才未満で日本国籍の健康な男子

#### 身分及び給与

特別職 国家公務員 初任給 二万五千円 衣食住 無料 定期昇給 年一回 賞与 年三回 退職金 二年満期で二十万円、

その他各種の特典があります。詳細は住民課へお尋下さい。

### 納税相談

昭和45年分  
所得税確定申告  
2月24、25日  
場所 中津江村役場

# 成人式に思う

中津江村教育長 村松 四郎

成人式は例年一月十五日の成人の日に行なっておりましたが、今年は一月五日に繰上げて行ないました。

今年、本村の成人式にお

きまして出席女性のうち洋装は二名だけで、ほとんどが振袖姿でありました。

法的にも社会的にも完全

な人格者として独立を宣言するに等しい成人式に、最上級の盛装がしたいという若い女性のわくわくするような心理も判らないこともないし、親御様の盛装させたいお気持ちも十分推察できないものでもありませんが、さてその振袖が当日たゞ一日のもので、めったに着て出る処もなく徒らにタンスの底に寝かして置き、結果は染め返し縫い直して外出着ぐらいいにしかならな

いとするならば、その家庭に及ぼす経済的負担は実に大きく無駄なことだと言わなければならぬでしょう。成人式にはそれだけの犠牲を払う価値があるのかも

知れないが、人生一生の大転機である結婚式でさえその九十%以上が貸衣装ですまされるであろう現代において、はたして合理的な考へ方であるだろうか。この際三、四万円の外出着にして振袖を作ったつもりで残り十万円は公民館の図書購入費に寄附したらどうだろう、お金を着物に化けてタンスの底で眠るのと書籍に化けて村民みんなの師とも友ともなるのではお金の価値に雲泥の差が生れるのではなからうかなどとひとさまのふところのことなので、勝手な空想を画いたりもしてみるわけです。もし、振袖なるものが単なる見栄であり、昭和元禄と言われる時代にマッチしたものであったとしたら、何ともみじめな思いがし、主催者が挙式を夏にでもして着られなくしなければもうしたことが改められないとするならば、これまた自主性に欠けた実に情けないことだと思えます。

ためもあつたでしょうが、その大半は振袖の罪だつたと思えます。多数の来賓の方々、成人該当の男性達を一時半も待たせた振袖の着付けが、いか程他人に迷惑をかけたかと思うとき、お互に真剣に考へて見る必要があるかと思えます。主催者が時間厳守をしなかつたのが悪かつたかも知れませんが、式に参加しようとする人の半数にも満たない状態で、しかもこの式に出るために十数万円の金をかけながら、参加出来なかつたとしたら、折角の成人式に一生の悔いが残るだろうことを思うとき、あえて定刻の開会が出来なかつたわけです。そこで私はこれから成人なざる方々と、そのお母さん方に提案したいのです。「成人式には清楚な平服にすること。」

簡単な洋服か、和服も外出着ぐらいいにして数年あわなかつたかつての同級生と、式後楽しくフォークダンスなどいかにしようか。是非来年の成人式はそうあつて欲しいと思えます。

## 御存知ですか “十兆円”

### 郵便局の簡易保険

十七世紀（江戸時代の）大西洋カリブ海の貿易はスペインが独占しておりました。ところがこの貿易船の積荷をねらう海賊が横領しスペイン船の金銀財宝を奪って勇名をあげました。面白いことに海賊は後顧の憂いのないよう、保険組合を作っていたといわれます。

現代の人は進んで危険に飛び込む人はいませんが、周囲には危いことが一ぱいです。交通事故は最も多く歩道にいても安全地帯にいてもいつ危険が降りかゝるか分りません、当然自衛手段と共に必要なのが万一の備えです。

さて「手軽に利用出来る郵便局の簡易保険」として親しまれているこの保険は時代に即応した傷害特約の発売など、内容も充実して近年ますます需要が高まっています。契約高が昨年十二月十五日で十兆円を突破しました。生命保険本来

### 香典返し

#### 御寄附

さきにお父さんの庄市さんを亡くした鯛生の田辺勝さん、叔父さんの吾市さんを亡くした栃原の櫛原照幸さん、御主人の三次さんを亡くした鯛生の吉本モトヨさんの三名から、香典返しとして村社会福祉協議会に金一封を寄附されました。ありがとうございます。